



かしわざき

KASHIWAZAKI

市議会だより

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.lg.jp>

平成30年4月20日 発行

No. 172

発行
柏崎市議会
印刷
(株)小田



主な内容

- 平成30年度一般会計予算 2～3 P
- 2月定例会議・代表質問 4～5 P
- 常任委員会報告 6～8 P
- 議決一覧 9 P
- 一般質問 10～18 P
- 全員協議会・研修会 19 P
- 議会報告会・編集後記ほか 20 P

3月23日(金)に柏崎市立博物館のリニューアル開場式がありました。

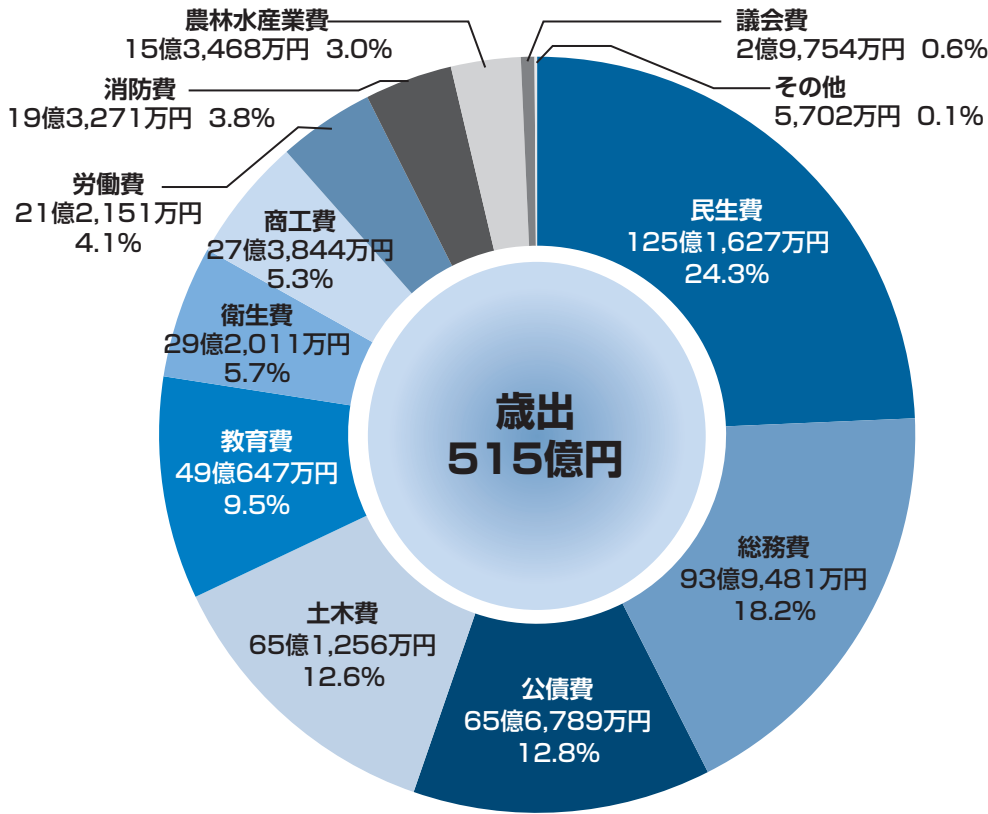
「いくつもの柏崎(ふるさと)と出会う」を基本構想とし、新しい時代の柏崎から古い時代の柏崎まで、柏崎の歴史などが楽しめる展示になりました。柏崎のさまざまな表情を見ることができ、ますます柏崎が好きになりました。

皆さんも楽しい柏崎の魅力に触れ、もっと柏崎(ふるさと)を好きになりませんか。

博物館がリニューアルオープンしました



平成30年度 一般会計予算を賛成多数で可決 当初予算額515億円



平成30年度の一般会計、6つの特別会計、3つの企業会計予算について審議し、全ての予算が原案のとおり可決されました。平成30年度は、今後10年間の柏崎の目指すべきまちづくりの方向性を示した「柏崎市第五次総合計画」の2年目となり、限られた財源の中で、人口減少・

少子高齢化の同時進行への対応や、ものづくり産業に力を入れた予算編成が行われました。その結果、一般会計予算額は、前年度比6.2%増、特別会計予算額総額は、前年度比30.9%増、企業会計予算額総額は、前年度比24.8%減となりました。

一般会計歳出内訳

区分	平成30年度	平成29年度	対前年度	
	当初予算額	当初予算額		
一般会計	515億円	485億円	6.2%増	
特別会計	国民健康保険事業	91億5,640万円	110億1,470万円	16.9%減
	後期高齢者医療	9億6,614万円	8億6,225万円	12.0%増
	介護保険	92億8,763万円	90億5,413万円	2.6%増
	土地取得事業	2億680万円	3億2,000万円	35.4%減
	墓園事業	910万円	781万円	16.5%増
	ガス事業清算(※)	81億9,970万円	—	—
企業会計	水道事業	58億3,424万円	57億8,992万円	0.8%増
	工業用水道事業	1,383万円	1,347万円	2.7%増
	下水道事業	99億5,769万円	101億4,730万円	1.9%減

※ガス事業が民営化されたことに伴い平成30年度新設された特別会計です。



平成30年度一般会計予算の討論(要旨)

私たちは、このような理由で 賛成 しました / 反対 しました

反対



日本共産党
柏崎市議員団
ごいのかずお
五位野和夫 議員

市長が主張される「少し変わる勇氣」が、経済、エネルギー、教育、福祉、あらゆる領域で求められるとしたが、そこが重要なポイント。予算編成は、政治的プロセス。過去の思い込みにとられず、今、必要とされるものにに応じて費用を使う。ここに「少し変わる勇氣」を発揮し、可能な限り、命と暮らしを守ることを最優先することを強く求めたい。

予算に反対する理由は次の3つ。

1 原発にかかわる政治姿勢に反対

「6、7号機再稼働の価値を認める」ことでなく、要請している廃炉計画を確実なものにし、廃炉産業に伴う地域経済の活性化と地元企業の付加価値を高めることを最優先に取り組むべき。

2 市民の暮らしの安全をつくることこそ、市政の発展につながる

ガス事業民営化の譲渡利益は、介護保険料や後期高齢者医療保険料の軽減など市民の暮らしに還元すべき。

3 市政のあるべき姿の追求、地方分権改革の具体的な進展を

自衛官募集事業が大きく膨らんでいることに問題点を投げかけたい。原発の安全やテロ対策として、自衛隊配備要請を安易に捉えていることに警鐘を鳴らしたい。

賛成



柏崎のみらい
しげのまさき
重野正毅 議員

櫻井市長がゼロベースから編成した平成30年度予算。人材育成・人材確保対策をベ이스とし、ものづくり産業にウエイトが置かれている。自治体を経営する基盤、原点は人材の育成。その視点を大切にし、実効性ある施策をお願いしたい。

1 人材育成・確保に関するもの

市の活性化や定住人口の増加に寄与するよう、とりわけ介護職員は、事業所と市が一層連携を図り、解決策を見出せるようにお願いしたい。

また、学校教育では、これほどチーム学校として、地域と密に連携しながら教育活動に取り組んでいる自治体はない。今後のさらなる充実を期待したい。

2 子育て、福祉に関するもの

ひきこもり支援センターの新設や子育て短期支援事業の成果は、今後の福祉や子育ての進むべき方向を示す指標。十分な体制を組み、臨んでほしい。

3 産業振興に関するもの

ものづくり産業及び観光の振興は、柏崎のまちづくりの根幹。廃炉産業は、次世代エネルギーの活用につながる。大きな経済効果をもたらし、柏崎に根づく産業になることを期待する。

賛成



公明党
わか い けい こ
若井恵子 議員

公明党は、「人口減少・少子高齢化の同時進行への対応」を強く求め、地域産業の再生と原発再稼働に向けたさらなる安全確保を強く望んだ観点から意見を述べる。

◎防災・生活環境について

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の再稼働・安全確保については、基本的に市長の政治姿勢を了とする。使用済核燃料の安全保管、乾式貯蔵施設の議論をしっかりと前に進めていただきたい。

路線バス事業は、運行事業者と協議し、利用促進ができる効率的な運行体系の構築を望む。また、鉄道交通は、市の経済にも直結する。企画列車が平常時の利用客増になつているのか検証する必要がある。

◎福祉保健について

こころの相談支援課やひきこもり支援センターを設置して、関係機関が連携する包括的支援が始まる。複雑化する現代社会では、心の悩みに直面する市民も少なくはないため、大いに期待する。また、介護・看護の人材不足は深刻な課題。市独自の取り組みを検討するなど、人材確保に一層取り組んでいただきたい。

◎産業経済・雇用について

地域経済・事業者への持続的・発展的な支援や地域産業を支えるため、女性、高齢者、障がい者が活躍できる施策を期待する。



2月定例会議

2月定例会議は、2月20日から3月22日まで行われました。

2月23日の本会議では、市長の施政方針演説があり、その後、平成30年度一般会計・特別会計・企業会計予算の提案などがされました。また、3月1日の本会議では、各会派の代表から市長に対し、代表質問を行い、3月12日から19日まで3常任委員会で審査を行いました。

3月22日の本会議では、一般会計予算の議案に対し、反対討論を1議員が、賛成討論を2議員が行い、賛成多数で一般会計予算を可決しました。なお、各議員の賛否については、5ページをごらんください。市長の施政方針は、広報かしわざき4月号の施政方針号をごらんください。



代表質問

代表質問は、市長の施政方針や平成30年度の市政執行の全般について、会派を代表する議員が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

毎年、新年度予算を審議する2月定例会議で行っており、今回の定例会議では、8つの会派が代表質問を行いました。各会派が行った質問項目は、次のとおりです。



民社友愛
さとうかずのり 議員

- 1 施政方針演説について
 - (1) 持続可能な行政を目指して
 - (2) 誰もが安心できる健やかな暮らし
 - (3) コンパクトな都市形成への対応
 - (4) 豊かな産業を生かしたまちづくり
 - (5) 官民連携で知恵を出し合える地域の構築
 - (6) 地域の活力を担う人材の育成
 - (7) 柏崎市のイメージ戦略



公明党
しんがいつなよし 議員

- 1 平成30年度当初予算に見る櫻井カラー、地域経営と成長戦略について
 - (1) 「成長と持続」、平成30年度予算に見る重点政策と櫻井カラーについて
 - (2) 「魅力ある、持続可能なまちづくり」、地域経営と喫緊の課題について
- 2 「行政のなすべきこと」、市民の幸せを目指した自治体経営について
 - (1) 「行政のなすべきこと」、事業峻別で目指す市役所像について
 - (2) 組織機構改革と質の高い執行体制の確立
- 3 地域エネルギービジョンが目指す新たな「エネルギーのまち柏崎」について
 - (1) 地域エネルギービジョンの目指す新たなエネルギーのまちづくりの取り組みについて
 - (2) 地産地消エネルギーの活用と地域エネルギー会社設立について



社会クラブ
やべただお 議員

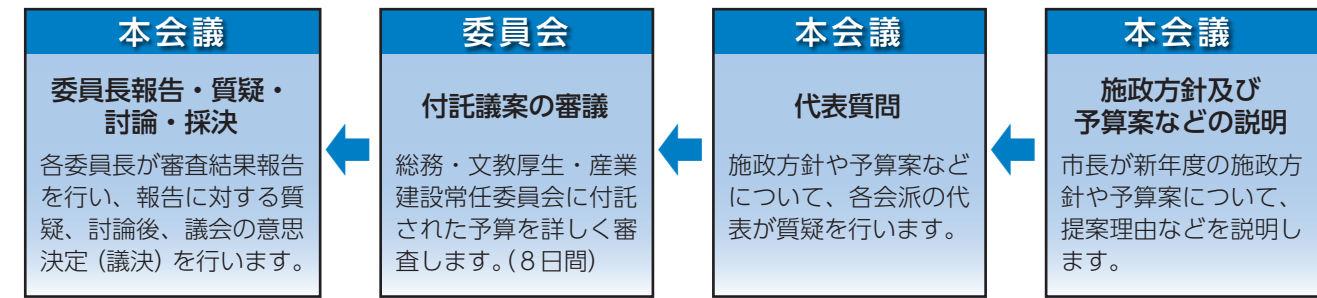
- 1 市長の原発に対する認識について
 - (1) 6、7号炉再稼働容認の根拠
 - (2) この先幾つかのプロセスを経る必要があることについて
 - (3) 東電の姿勢、企業体質について
 - (4) 市民はどう考えているか（再稼働についての検証をどうするのか）
 - (5) 実効性ある避難計画について
 - (6) テロ対策について
 - (7) 防災訓練について
 - (8) 使用済み核燃料について



柏崎のみらい
いづかとしゆき 議員

1 柏崎を未来につなぐために、平成30年度施政方針について

新年度予算審議の流れ





- 1 「少し変わる勇氣」について
 - (1) 少し変わる勇氣とは何か
 - (2) 少し変わる勇氣が特に必要な分野や場面は何か
- 2 「人材の育成・確保対策」



市民クラブ
三宮直人 議員

- 1 原子力発電所の再稼働への認識と地域経済について
- 2 市長の考える廃炉事業について
- 3 人材確保・育成事業について
- 4 市長の考える柏崎の観光とは



決断と実行
星野正仁 議員



丸山敏彦 議員

- 1 櫻井市長の市政に対する考え方について
- 2 防災・生活・環境「頼もしさ」をつなぐまちを



自治研究会
布施学 議員

- 1 人口減少対策へ政策展開の基本的視点について
- 2 原子力発電所の安全対策としての課題について
- 3 生物多様性の保全と森林づくりについて



日本共産党柏崎市議員団
持田繁義 議員

- 1 柏崎にはどのような「質」の人材が必要か
- 2 優秀な行政職員とは
- 3 「稼ぐ力」について
 - (1) 「少し変わる勇氣」を發揮した部分は何か
 - (2) 稼ぐ力は拡大しているか
 - (3) EVシフトは柏崎の産業にどう影響するか

- 1 職員の研修について
- 2 自治経営「多様な主体と共創し共育するまちを目指すことについて
- 3 シティセールスについて
- 4 地元回帰意識をどのように醸成していくのか
- 5 魅力・文化「柏崎らしさ」をつなぐまちを目指すことについて
- 6 子供の未来を開く「柏崎学」について
- 7 教育・スポーツ「たくましさ」をつなぐまちを目指すことについて

- 1 実効性ある避難計画について
- 2 健康・福祉「健やかさ」をつなぐことについて
- 3 子育て短期支援事業について
- 4 ひきこもりの支援について
- 5 健康・福祉「健やかさ」をつなぐことについて
- 6 農業の人材確保について
- 7 地産地消推進登録制度について
- 8 意欲ある事業者の支援について
- 9 産業・雇用「豊かさ」をつなぐまちを目指すことについて

- 1 組織・機構の改革に伴い、新たに「子ども未来部」と「危機管理部」が新設されます。また、これにあわせ、市民の利便性を高めるため、課名や業務内容、市役所のフロア配置などが変わります。詳しい変更点は、広報かしわざき4月号の施政方針号をご覧ください。

- 1 豪雪の影響により、不足が生じる除排雪関係経費などを補正するものです。
- 2 なお、このほかに道路などを除雪するための委託料を、合計約8億円とする補正予算を市長が専決処分しています。

平成29年度一般会計補正予算(第15号)



市の組織が変わります
組織・機構の改革に伴い、新たに「子ども未来部」と「危機管理部」が新設されます。また、これにあわせ、市民の利便性を高めるため、課名や業務内容、市役所のフロア配置などが変わります。詳しい変更点は、広報かしわざき4月号の施政方針号をご覧ください。

豪雪の影響により、不足が生じる除排雪関係経費などを補正するものです。
なお、このほかに道路などを除雪するための委託料を、合計約8億円とする補正予算を市長が専決処分しています。

議員賛否一覧（2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案）

議決日	議案	佐藤正典	重野正毅	五位野和夫	持田繁義	阿部基	三宮直人	上森茜	柄沢均	笠原晴彦	春川敏浩	布施学	相澤宗一	佐藤和典	与口善之	飯塚寿之	若井洋一	矢部忠夫	村田幸多朗	加藤武男	荒城彦一	若井恵子	真貝維義	星野正仁	三井田孝欧	齋木裕司	丸山敏彦	
3月22日	平成30年度一般会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月22日	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月22日	平成30年度介護保険特別会計予算	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月22日	介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 退は退席 加藤武男議長は採決に加わりません。



総務常任委員会

平成30年2月定例会議では、議案18件を
審査しました。
委員会での主な質疑について報告します。

- 委員長 与口 善之
- 副委員長 三宮 直人
- 委員 重野 正毅
- 持田 繁義
- 柄沢 均
- 笠原 晴彦
- 布施 宗一
- 相澤 学
- 若井 恵子

平成30年度一般会計予算

政策推進事業

▼事業の概要

市の政策に係るアドバイスを受けるものです。

問 政策コンサルティング業務の委託先である(株)経営共創基盤をどう評価したのか。
答 国レベルでの企業再建を達成してきた実績を評価した。

U・イターーン促進事業

▼事業の概要

市で暮らす魅力の発信と定住に関する相談を行います。

問 U・イターーン情報プラザを廃止するが、今後の進め方は。
答 担当部署を庁内1階に、フロンティア内にもサテライトを置き、職員が直営で取り組む。

地域で支え合う除雪支援事業補助金

▼事業の概要

自力で除雪を行うことが困難な世帯に関して、地域内で助け合いを行った場合に市が支援します。

問 近隣の町内との連携も可能と考えてよいのか。
答 上限10万円の範囲となるが、一緒に行う計画をあげれば町内連携は可能である。

資源物リサイクルセンター管理委託費

▼事業の概要

交通渋滞緩和のため、2カ所目の資源物リサイクルセンターを開設する委託料などです。

問 予定地の道路状況や周辺環境への影響は評価しているか。
答 交通渋滞の緩和等について、

地元との意見交換を継続する。

原子力防災対策事業

▼事業の概要

万が一の原子力災害に備え、市の防災拠点の機能整備や強化、避難先との連携強化などの対策を行います。

問 消防団の活動として原子力防災にどうかかわるのか。
答 避難誘導や広報において原子力防災にかかわる。そのために研修や視察を重ねてきた。

◎議員問討議

路線バス確保事業の「高齢者割引運行補償金」

▼事業の概要

市街地循環バスの高齢者割引により、路線バスの利用を促します。

▼論 点

高齢者割引運行補償金が市

◎討 論

【反対1名】

街地循環バスのみでは公平性は確保できないのではないかと。また、ガス事業売却益は介護保険事業や後期高齢者医療保険事業へ投入するべきである。

【賛成3名】

・ 市民生活部の事業は、福祉や公共施設整備と密接な関係にある。関係部門間の連携に留意してほしい。
・ 職員の育成、ふるさと納税、シティセールス、U・イターーンに適切に予算が確保されている。

・ 政策コンサルティングの委託先は優れたコンサルタント会社であり、市主導で活用し成果を上げてほしい。

鉄道等活性化事業の「企画列車運行」

▼事業の概要

「柏崎米山号で行く東京デイズニールリゾートへの旅」を企画し、鉄道の利用を促します。

▼論 点

企画列車は日常の利用促進という事業目的に対して有効と言えるか。

▼結 果

企画列車は、事業目的がシティセールス・観光振興であれば理解できるが、利用促進、利用者拡大では有効とは言えない。今後、これらの意見を踏まえて実施していただきたいとの意見の一致をみた。

議員問討議とは

議案の提出者(市当局)の提案説明、質疑の後、当該議案の論点や争点などを整理し、議員間で討議します。そして、意見集約を行い、提言などに反映させることです。



市街地循環バス「ひまわり」



文教厚生常任委員会

平成30年2月定例会議では、議案21件を
審査しました。
委員会での主な質疑について報告します。

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 飯塚 寿之 | 五位野和夫 |
| 副委員長 | 阿部 基 | 矢部 忠夫 |
| | 丸山 敏彦 | 村田幸多朗 |
| | 星野 正仁 | 荒城 彦一 |

指定地域密着型サービス に関する条例の一部を 改正する条例

▼議案の概要

共生型地域密着型サービスの事業並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定めるものです。

▼主な質疑

問 サービス提供責任者の業務経験年数が3年以上から1年以上に緩和された理由と、オペレーターの仕事について「午後6時から翌日の午前8時までの間において」が削除された理由は何か。

答 年数が緩和された理由は、できるだけ多くの人が携われるようにするものである。緩和することにより、サービスの低下を招かないよう一定のスキルは必要であることが括弧書きで付記されている。

時間要件の削除は、従事しやすいように緩和したことと、日中と夜間の利用件数の状況に差がなかったためである。

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護の方法に関する効果的な支援の基準等を定める条例の一部を改正する条例

▼主な質疑

問 「利用者及びその家族の参加を基本としつつ」との記載が追加された理由は何か。

答 ケアプランについて、本人と家族が同席することにより、十分な説明を受け、本人及び家族の意向に沿った利用にするためである。



平成30年度一般会計予算

福祉保健部関係機構改革

▼機構改革の概要

こころの相談支援課、ひきこもり支援センターを新設します。

▼主な質疑

問 課の編成で4月1日からの窓口業務や相談業務に対して市民の混乱を招く可能性はないか、どのように対応するのか。

答 基本的には現在と同じ場所での窓口対応であるが、課としては場所が分かれるところもある。これまで同様に連携して、相談・支援を行っていく。

介護従事者人材確保・育成支援事業

▼事業の概要

介護関連施設で働きながら、

介護職員初任者研修を受講する支援を行う事業です。

▼主な質疑

問 予算の拡充内容と事業内容は何か。

答 資格のない者が就職した際に初任者研修を受けるまでの助成を事業所に行うもので、事業所から聞き取り等を行いもっと利用しやすいものにしていきたい。

子育て短期支援事業

▼事業の概要

家庭で児童を養育することが一時的に困難になった場合に、一定期間、児童福祉施設における養育を委託する事業です。

▼主な質疑

問 事業の対象者、受け入れ先はどのように考えているか。

答 保護者の疾病などで養育が一時的に困難な場合や育児疲れにより、良好な親子関係が保てないときなどを想定しており、定期的な利用、頻繁な利用は考えていない。

◎討論

〔反対1名〕

・福祉保健部関係では、専門性、継続性、素早い対応が求

められる業務に、非常勤職員が多い。

・教育委員会関係では、子ども医療費の助成について、ガス事業売却益などの活用で、平成30年度は通院までを補助の対象とすべきである。

〔賛成2名〕

・機構改革では、こころの相談支援課に期待する。
・医療・介護報酬改定は、市民への影響、戸惑いがある。国に伝えるべきことはしっかりと伝えるべきである。
・人材確保について、市独自の支援策を行っているが、さらに力を尽くしてほしい。

・ひきこもり支援センター開設など、市民からの相談対応に期待する。



教育センター内にひきこもり支援センターが新設されました



産業建設常任委員会

平成30年2月定例会議では、議案18件を
審査しました。
委員会での主な質疑について報告します。

委員長

佐藤 和典

副委員長
上森 茜

佐藤 正典

春川 敏浩

若井 洋一
真貝 維義
三井田孝欧
齋木 裕司

平成30年度一般会計予算

柏崎産米ブランド化推進事業

▼事業の概要

市独自のブランド米認証制度である「米山プリンス認証制度」の実施・啓発に係る経費と認証制度に取り組む農業者を対象に、土づくりや機械・機器等に係る購入経費の助成などを行います。

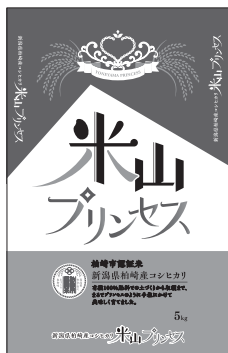
▼主な質疑

問既に食味基準等が決まっているが、基準を決めるに当たり、農家や関係団体への周知は、同時並行で進めてきたのか。また、食味値85点以上という基準は妥当なのか。

答準備もあるので農家などには既に説明済みであるが、今後も周知していく。食味85点は魚沼産以上の値であり、おいしいお米にこだわりたい。



柏崎認証米マーク



中小企業等融資事業

▼事業の概要

中小企業等の資金需要に対応した融資を実行し、資金繰りの安定と設備投資の促進を図る事業です。

▼主な質疑

問資金融資は重要な景気対策である。銀行と比べた金利設定の考え方はどうか。

答金利は金融機関と同等であるが、利用時の手続の煩雑さが利用実績に結びつかないのではないかと分析している。一方、信用保証料の補給は順調なので、利用実態など今後の動向を見極めたい。

道の駅風の丘米山整備事業

▼事業の概要

「道の駅風の丘米山」の再整備に向けて、事業者の選定と誘客の可能性など、再整備

の実現可能性を調査します。

▼主な質疑

問受託者の募集において、プロポーザルの現状はどうか。また、土地の所有権が複雑だが、懸念材料はあるか。

答現在、事業者を募集中であり、4月上旬に契約をしたいと考えている。また、当該土地の所有者が複数存在している。市として買い取りや借入をするなどして用地を一括して事業者提供できるようにしたい。

空き家対策事業

▼事業の概要

有識者による特定空家等審議会の運営経費、管理不全な空き家に対する緊急安全措置費用、空き家活用支援事業補助金などの措置、また市外からの転入者に対する上乗せ補助などを行います。

▼主な質疑

問新年度において具体的な行政代執行の計画はあるのか。
答今の時点では、特定空家の中で、すぐに行政代執行を行わなければならない物件は承知していない。
問転入者に対する上乗せ補助はどのような内容か。

答市外からの転入者については、補助上限額を20万円引上げ70万円とする。



国民休養地設置及び管理に関する条例を廃止する条例

▼議案の概要

整備から40年以上がたち、施設の大幅な改修が必要な状況。専門家からも適地ではなく、採算の見込みが立たないとの意見があるため、平成29年度末をもって国民休養地を廃止とするものです。

◎討論

【賛成1名】

・国民休養地の施設内の高速道路上にかかる2本の橋については危険なので、点検の上、今後どうするのか決断をしつかり行ってもらいたい。

